



海浜美化フォーラム 2011.2/13

つながる森と川と海～海ゴミ問題を考える

海岸漂着物と環境保全について白熱した議論



基調講演:

辻井 達一氏

(財)北海道環境財団・理事長
「ヤシの実一つから始まる
～海岸漂着物が語ること」



行政報告:

梶川 浩二氏

北海道生活部環境局
循環型社会推進課
廃棄物指導グループ・主査

辻井先生は、ご専門の湿原のお話から、写真を使って南の島々の現状と日本のつながりについてお話になり、ヤシの実だけでなく人も漂着してきたお話をされた。また、海岸の漂着物を厄介者にするのではなく、地域の廃校を使って博物館にしてはどうか？など、楽しいアイデアがあふれる講演でした。

梶川氏は、行政の立場から、海岸漂着物は生活ゴミを始め、身近なゴミ等に起因するものも多く含まれている。道民の意識とモラルの向上を図りたい。また、行政としてバックアップをしていくので、今後も海浜美化活動に力を入れて頂きたいと講演した。

パネルディスカッションでは、行政に対して意見・要望が次々と出された。参加者の環境保全に対する意識が高まった講演会となった。

辻井氏、梶川氏に、奥谷浩一氏を交えてのパネルディスカッション、行政への提言も

